

開催要旨

<開催日時>

令和7年2月28日(金)18:30 ~20:00

<出席状況>

- ・部会員 5名中3名出席
- ・健康対策課 4名

<議題>

(1) 令和6年度の肝炎対策に係る実績について(報告)

- ・R5年度の職域検診における肝炎検査の実績について
R5:22医療機関にて49,263名が検査受検
結果:要精密者(122名:0.25%)、精密受診者(30名)中、陽性者(26名)
- ・肝炎治療受給者証の交付状況について R5:604名
- ・高知県内のウイルス性肝炎検査の実績について
R5:県、高知市保健所、市町村検診で1,545名が検査受検(陽性者:4名(B型))
- ・精密検査費用助成実績について R5:63名(初回:0名、定期:63名)
- ・令和6年4月~12月までの肝がん重度肝硬変治療研究促進事業の参加者証交付実績について
新規:20名、更新:7名 ※制度改正、要件緩和により新規交付件数が伸びた。

(2) 令和6年度の肝炎対策に係る取組について(報告)

- ・出前講座について
令和6年度新規事業。来年度以降も継続予定。
- ・肝炎医療コーディネーターの治療医療機関への配置状況及び認定期間について
- ・肝炎医療コーディネーター新規養成研修会及びフォローアップ研修会のアンケート結果について

(3) IFNフリー治療及び診断書記載医師に係る研修会について

- ・医師が参加しやすい環境等を整えるためのオンライン開催の検討
※県外からの転入等により、研修会を受講する必要がある医師は、例年一定数いることから、これまでどおり来年度以降も毎年開催。

(4) その他

- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について
当該治療の助成に係る参加者証(手帳)の交付等を行っている医療機関に偏りあり。
→今後、個別に対応。
- ・核酸アナログ製剤治療の更新書類について
更新の適否を判断する資料の1つとして、3年に1回医師の診断書を提出してもらうことが望ましいのではないかと。
→患者の経費負担等及び国の通知趣旨等を勘案し、特に定期的に診断書の提出までを求めず、検査結果の添付でも可、という従来どおりの扱いとする。

<令和7年度に向けて>

- ・令和7年度末で認定期間が終了するコーディネーター(279名)への対応について
認定期間が切れないように配慮する。例えば、フォローアップ研修会の開催回数の増加、期限の延長を特例的に認める等。